

“佐久市生まれ、岩村田高校、東京藝大日本画卒業後、活躍中の画家が
地元への思いを込めて初めて挑んだ浅間シリーズ、満を持して発表!”

「浅間朝陽」F30

MASATO YANAGISAWA

柳沢正人

浅間 三十六景展

— 軽井沢・東京銀座巡回 —

2025

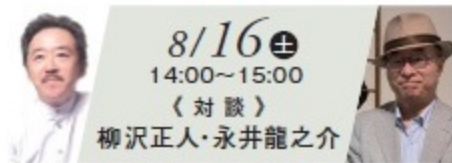
8.16_{Sat.} - 29_{Fri.}

入場無料

9:30 - 17:00 《会期中無休》

軽井沢千住博美術館ギャラリー

389-0111 長野県北佐久郡軽井沢町長倉815



8/16_±

14:00 ~ 15:00

〈対談〉

柳沢正人・永井龍之介



佐久市野沢より 千曲川と



MASATO YANAGISAWA

柳沢正人 浅間 三十六景展

— 軽井沢・東京銀座巡回 —

2025 8.16 Sat. — 29 Fri. 9:30—17:00
《会期中無休》

軽井沢千住博美術館ギャラリー

389-0111長野県北佐久郡軽井沢町長倉815

入場無料



「種畜牧場の春」F6



「小海線と浅間(夏)」F6



「浅間秋景」F6



「嬬恋村の冬」F6



「千住博美術館より望む」P6



鬼押出し
ハイウェイより

柳沢正人
MASATO
YANAGISAWA

- 1955 長野県佐久市生まれ
- 1981 東京藝術大学大学院美術研究科日本画専攻修了
- 1989 第10回山種美術賞展出品 (同91.93.95)
- 1991 第2回五島記念文化賞 美術新人賞
(イタリア フィレンツェ海外研修)
- 1992 両洋の現代の絵画展 (同93-99.09)
- 1993 菅原大賞展大賞 (90佳作賞)
- 2024 紺野賞章
- 箱根芦ノ湖成川美術館、日本橋三越等で個展開催

軽井沢千住博美術館ギャラリーでは2017年から毎夏 信州、軽井沢及び千住博さんゆかりの作家、作品展を企画しています。

今回はそれらがいずれも揃った貴重な企画展です。

柳沢さんは佐久市生まれ、岩村田高校卒、東京藝大日本画科田一穂研究室では千住さんの先輩にあたり、お互い画業を認め合っています。

藝大卒業後、イタリア留学をきっかけとしてイタリアの歴史、文化、風土を実感するなか生まれた、悠久の時空を超えた壮大なスケールで展開するイタリア風景シリーズで人気を博しています。

2年前に本企画をご提案したところ「浅間は幼少期から身近な存在で特別な思い入れがある。是非取り組みたい。」ということで初めて連作に挑まれました。

50年の血肉となった画業で、ご自身の深層にある「浅間」への深い思いが結実した本シリーズは、日本近代絵画を代表する梅原龍三郎、小山敬三らの代表作「浅間」に続き日本風景画史にその名が刻まれることと思います。

本展は、藝大卒業後模索時代、イタリア時代を経て、至った柳沢芸術第三章の幕開けといえます。軽井沢〜東京銀座巡回を通して地元の皆様、絵画ファンをはじめ多くの方々にご覧いただきたくご案内します。

永井龍之介

軽井沢千住博美術館ギャラリー

389-0111長野県北佐久郡軽井沢町長倉815

連絡先:090-7833-0537 永井画廊 永井

【ギャラリー】入場無料

【本館】一般1,500円/学生1,000円(税込)

中学生以下・障がい者無料

団体15〜49名:一般1,200円/学生900円

50名〜:一般1,100円/学生800円

※障がいのある方お一人につきお付添の方一名も無料となります。

本展開催期間中、本状1枚のご持参により
最大5名様まで、軽井沢千住博美術館の入館料が
100円割引となります(他割引との併用不可)

【電車をご利用の場合】

軽井沢駅(JR北陸新幹線・しなの鉄道)下車、タクシー約10分

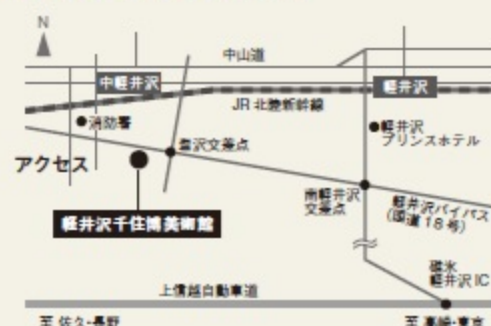
中軽井沢駅(しなの鉄道)下車、タクシー約5分

両駅からのアクセスには、バスのご利用も可能です。

【お車でお越しの場合】

上信越自動車道

碓氷軽井沢インターチェンジより約15分



東京銀座巡回

「柳沢正人-浅間三十六景-展」

2025年9/2(火)〜13(土) 永井画廊

10:00〜18:00 日曜休廊

104-0061

東京都中央区銀座8-6-25 河北新報ビル5階

tel: 03-5545-5160 fax: 03-5545-5180

<https://www.nagai-garou.com>